

第3回定例会

第3回定例会が9月2日に開催され、一般会計ほか4特別会計の補正予算を原案のとおり可決しました。

・審議した議案①

各会計 補正予算

8月20日発生した若佐地区集中豪雨の
災害復旧に対し1900万円の予算を計上
強い農業づくり事業で
麦類乾燥調製施設増強工事に8590万円！

審議した議案

予算

□平成25年度佐呂間町一般会計補正予算(第3号)
1億2644万円が追加され、予算の総額が49億7868万円になりました。

(主な歳入)

- ・普通交付税 1243万円
- ・農業委員会活動促進事業費補助金 304万円
- ・強い農業づくり事業補助金 8590万円
- ・臨時財政対策債 2240万円

(主な歳出)

- ・PCB廃棄物処理委託料 470万円
- ・農地台帳地図化システム整備委託料 320万円
- ・強い農業づくり事業補助金 8590万円
- ・道営土地改良事業等負担金 742万円
- ・農業後継者育成支援対策事業費補助金 500万円
- ・住宅建設促進事業費補助金 375万円
- ・修繕料(除雪等重機) 344万円

□平成25年度佐呂間町一般会計補正予算(第4号)



集中豪雨であふれた水を排水する消防署員

1928万円が追加され、予算の総額が49億9797万円になりました。

(主な歳入)

- ・普通交付税 1928万円

(主な歳出)

- ・重機等借上料(農業用施設災害復旧費) 395万円
- ・重機等借上料(道路河川災害復旧費) 505万円

□平成25年度佐呂間町簡易水道特別会計補正予算(第1号)
2314万円が追加され、予算の総額が3億3488万円になりました。

(主な歳入)

- ・前年度繰越金 775万円
- ・佐呂間簡易水道区域拡張事業費債 1460万円

(主な歳出)

- ・若佐簡易水道水利権・認可変更申請業務委託料 770万円

□平成25年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
372万円が追加され、予算の総額が8億7323万円になりました。

第3回定例会

同意案件のほか4つの案件が可決となりました。また、3件の報告がなされました。

・審議した議案②

同意

□情報公開・個人情報保護審査会委員の任命につき同意を求めることについて
情報公開・個人情報保護審査会委員として、次の方の選任について同意しました。

- ◎仁 倉内藤学峰氏
- ◎若 佐寺本孝昭氏
- ◎朝 日真如智子氏
- ◎若 佐桐山三津代氏
- ◎浜佐呂間村岡竹雄氏

(主な歳入)

- ・その他繰越金 372万円
- (主な歳出)
- ・退職被保険者等高額療養費負担金 347万円

□平成25年度佐呂間町介護保険特別会計補正予算(第1号)

218万円が追加され、予算の総額が5億3131万円になりました。

□平成25年度佐呂間町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

23万円が追加され、予算の総額が2億3614万円になりました。

その他

□北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について
昨年、住民基本台帳法の一部が改正されたことに伴い、規約の改正が必要となったものです。

□佐呂間町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

本年度以降の過疎債借入れ対象となる事業を追加するため計画を変更します。

追加する事業は、民有林人工造林推進事業、クリニックさろま建設等事業及び医療機器整備事業の3点です。

□財産の無償貸付について
小田医院の病床継承のため、小田稔氏から土地・建物等無償譲渡を受けることとなりますが、譲渡後においても来年3月まで小田医院として継続診療するため無償貸付するものです。

- ・土地の所在地
永代町177番地の29
- ・建物の名称、面積
病院 697.85㎡
病院(増築) 441.25㎡

共同住宅 94.40㎡
付属家 14.58㎡

・貸付の目的
診療所運営のため

・貸付の相手方
佐呂間町字永代町
小田 稔 氏

・免除する貸付料
平成25年以降(年額)
318万8343円

□損害賠償の額の決定について

町営スキー場における車両事故によって町が行う損害賠償の額が、次のとおり決定となりました。

- ・損害賠償の額
175万9308円
- (うち本人への賠償額
80万4442円)
- ・損害賠償の相手方
佐呂間町字西富
松本真嗣 氏

報告

□町立診療所に関する特別委員会中間報告

今後も調査、検討、協議すべき案件が想定されるため、委員会設置の目的が達成されるよう、改選後改めて調査継続を

□総務福祉・産業文教常任委員会、議会運営委員会
所管事務調査報告

3委員会合同による道内行政視察が7月2日から4日にわたりに行われました。

視察先は、上川管内剣淵町、十勝管内鹿追町及び町議会であり、この調査結果の報告がなされました。

□健全化判断比率及び資金不足比率について

監査委員の審査意見書とともに報告がなされ、財政健全化審査については、一般会計が黒字のため【実質赤字比率】は比率なし、【連結実質赤字比率】においても比率な



バイオガスで走る鹿追町の公用車

第3回定例会

・審議した議案③

平成24年度各会計歳入歳出の決算を認定しました。

1件の意見書を可決し関係省庁に提出しました。

健全化判断比率 (単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
- (15.0)	- (20.0)	8.3 (25.0)	- (350.0)

(-) 書きは早期健全化基準

資金不足比率 (単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	備考
佐呂間町簡易水道特別会計	-	経営健全化基準 20.0%
佐呂間町公共下水道特別会計	-	

し、「実質公債費比率」も早期健全化基準の25%を大きく下回る8.3%であり、「将来負担比率」も算定されないことから、本町の財政は健全であるといえます。

また、経営健全化審査では、公営企業会計の資金不足比率を見ますが、本町で該当となる簡易水道及び公共下水道特別会計ともに資金不足比率はなしで、現段階では2つの企業会計とも経営は健全であるといえます。

認定

□平成24年度佐呂間町各会計歳入歳出決算認定について

議長及び議会選出監査委員を除く議員8名の構成による決算審査特別委員会に付託され審議した結果、委員会としては原案認定となりました。

その後、本会議において高瀬委員長より、各会計の決算を認定する旨の審査結果報告がなされ、採決の結果、全会一致で認定されました。

意見書

□道州制導入に断固反対する意見書の提出について

これまでも道州制導入に反対する要請を政府や国会に行ってきたが、国会ではこの要請を無視するかのような動きを見せています。

道州制の導入は住民自治の推進に逆行し、住民に一番身近な存在である町村の存在を否定するものであることから、導入に断固反対する意見書が可決され、関係大臣宛提出しました。

(単位：千円)

区分	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	収支差引
一般会計	5,100,304	5,088,290	4,949,134	139,156
簡易水道特別会計	228,829	230,106	213,638	16,468
国民健康保険特別会計	866,955	879,380	839,490	39,890
公共下水道特別会計	206,206	206,950	197,216	9,734
介護保険特別会計	526,823	527,687	510,338	17,349
介護サービス事業特別会計	299,215	303,344	292,250	11,094
後期高齢者医療特別会計	82,342	82,558	79,668	2,890
合計	7,310,674	7,318,315	7,081,734	236,581

平成24年度各会計歳入歳出決算状況



朝日にある簡易水道の取水施設

◎簡易水道の工事費負担金の増額について

【質】本年は5カ年計画で行われている佐呂間簡易水道区域拡張事業の最終年度ですが、取水施設の工法変更により工事費負担金が増額になったとのことですが、なぜ工法変更が必要になったのか。

【答】計画当初から水を濁らせないような工法で設計されていたが、施工方法の細部が詰められてなかったことが原因だと聞いております。今後は、計画当初から精度の高い見積りをしてもらうようお願いしていきたいと思っております。



補正予算
質疑の中から

第3回定例会

町長より行政報告がなされました。
(内容は要約して掲載しています。)

・町長行政報告

町長行政報告

(要旨)



大雨により冠水した若佐市街交差点

□8月20日の局所的豪雨災害について
若佐地区で発生した大雨と強風による被害は床下浸水が若佐勤労者団地を中心に15戸、農作物・道路・河川など被害額は6300万円あります。災害の対応に消防職員、消防団員、町職員が出動しました。

□農作物の生育状況及び漁業について
農産物の生育状況は、秋まき小麦の収穫量反当り乾麦粗原は546kg(9.1俵)調整後の販売見込み量491kg(8.2俵)カボチャは高温による着果不良で収量は平年を下回る見込みである。

飼料作物は牧草の一番草収穫作業の収量は平年の8割の出来であった。搾乳農家の乳量は25年度上半期は前年比5.6%上回っています。漁業の北海しまえび漁は例年より漁獲量が少なく17.8トンで設定量の93.5%で終了しました。

□公共事業の執行状況について
25年度は事業費6億4700万円(57件)を予定して8月末で発注率は83%です。

□佐呂間厚生クリニックの24年度運営結果について
平成24年度の診療結果は、外来患者数、内科患者9317人(1016人減)、外科患者1349人(68人増)です。

収支状況は事業収益2億2138万円、事業費用2億8165万円で経常損失6027万円になり来年の3月末に負担します。

□友好都市宮崎県都農町との交流について
都農町にグラントオープンする道の駅のセシモニーで佐呂間町の「ホタテ」の宣伝をして地域特性を生かした交流を図ってきました。



道の駅「つの」に並び佐呂間町の特産品

□さらまこどもスペース「めるくる」の開設について
さらまこどもスペース「めるくる」は8月2日開設され

ました。

この施設は町内に生活する児童で発達に心配があり、日常生活による基本動作の指導、個別教育、集団療育が必要と認められた小学生から高校生までの放課後等デイサービス事業所です。



「めるくる」のフリースペース

□町営スキー場人身事故の損害賠償について
平成23年1月に発生した町営スキー場の人身事故は8月に示談が成立いたしました。が、再びこのような事故を起こさないように安全の徹底に努めます。